

平成30年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業  
 (Ⅱ 定住外国人の子供の就学促進事業)  
 事業内容報告書の概要

都道府県・市区町村・協議会名【 飯田市教育委員会 】
平成30年度に実施した取組の内容及び成果と課題
<p>1. 事業の実施体制</p> <p>○放課後学習教室や日本語指導者派遣事業については、教育委員会が学校から支援要望の取りまとめ、調整を行う。派遣の必要性に応じて、教育委員会、学校、日本語指導者により、支援内容の計画を策定し、指導者の派遣を実施する。</p> <p>○夏季休暇中の学習教室設置、公民館での家庭学習支援は、教育委員会や指導者から各学校に参加者を呼び掛け、参加者を募る。教育委員会、日本語指導者、学習支援者により、日程、場所、内容等の検討を行い、地域ボランティアへ協力を依頼する。学習支援者、日本語指導者、地域ボランティアにより、支援を実施する。</p>
<p>2. 具体の取組内容</p> <p>○日本語指導者による放課後学習教室の開催</p> <p>○夏季休暇中の学習教室開催</p> <p>○日本語教室未設置校への日本語指導者の派遣による日本語指導および学習支援</p> <p>○地域ボランティアの協力による公民館での家庭学習支援</p>
<p>3. 成果と課題</p> <p>○放課後学習教室は学校授業時間外のため、授業への影響を少なくできた。また、個別の相談に寄り添え、学校と共有することができた。設置校や開催時間などにより潜在的ニーズに対応できていない。</p> <p>○長期休暇による学習の途切れをなくすことができ、学校教員も参加することで、学校との継続的学習支援をすることができた。春季休暇にも開催できることが望ましいが、予算的な課題がある。</p> <p>○学校への日本語指導者の派遣による日本語指導および学習支援は、特に初期日本語の支援が必要な児童生徒の基礎学力向上の支援をすることができた。生徒が授業を受ける機会を考慮し、取り出し以外の方法や他の支援との組み合わせも検討する。</p> <p>○公民館での家庭学習支援では、地域ボランティアを通じ、地域とのつながりができた。保護者や学校からも一定の評価を得た。</p>
<p>4. その他(今後の取組等)</p> <p>○日本語指導のニーズに対して日本語指導者不足および予算不足の課題があったため、飯田市単独事業として行っている外国籍児童生徒等への支援事業と連携させて、今年度よりも日本語指導時間を増やしニーズに対応する。</p>

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない。)